

令和7年度 南地区学校運営協議会の7月末までの活動に関する報告

令和7年8月1日 南地区学校運営協議会事務局

1 南地区内で取り組むテーマ

(1) 児童生徒の学力の確実な定着

※ 「読書」や「家庭での学習・活動」の大切さをおさえながら、引き続き学校と地域社会が協働してできることを考えていく

(2) 学校や教室に足が向かない児童生徒の学校内外での活動の場づくり

※ 「学校に足が向かない児童生徒」や「教室に入ることには困難さをもっている児童生徒」にとって、学校内外で興味関心をもって取り組めることを探り、外部人材等が「児童生徒との活動の時間」を設けることができるかどうかを追求する（例：お祭りが好きなのであれば、企画・準備段階から大人と一緒に参画してもらう）

2 取組内容

【学力の確実な定着に関わって】

(1) 地域社会から授業(学習)支援ボランティアを募ること

○ 南地区内の一般住民

⇒ 3名のボランティアが6～7月にかけて南小学校の授業に81コマ入り、学習支援を行う

○ 夏季休業中の大学生

⇒ 帰省中の大学生を対象に8月～9月の期間で現在募集中

○ 2月以降の自宅学習に入った高校3年生

(2) 学校教育活動の中で 読書の楽しさを伝える読み聞かせ等の活動

⇒ 「葉の会」「市立図書館職員」に読み聞かせをしていただいている

(3) 中学生・高校生・大学生による学習(宿題)支援

⇒ 地域食堂(南地区拠点センター・さくらが丘会館)に来た小学生を対象に高校生・大学生ボランティアが学習の場「たんぼぼひろば」を提供している

⇒ 高校生・大学生には小学生に関わることの楽しさを体験してもらう

(4) 児童生徒の家庭での学習や活動を促進させる「児童生徒向け講座」等の開催

【学校や教室に足が向かない児童に関わって】

(1) 各学校における「児童生徒が興味関心をもっていること」の聞き取り(調査)

(2) 「児童生徒の興味関心」に関わって一緒に活動してもらえ地域人材さがし

(3) 地域人材(外部講師)による

① (可能であれば)校内での児童生徒とのやり取り⇒教室や授業に足が向かない児童で「折り紙」に興味がある児童が、折り紙講師からの指導を受けることができる機会・場を週1回設けている

② 校外の社会教育施設等での児童生徒とのやり取り ⇒ 「育英館大学」に興味をもつ児童生徒に対し大学内での活動を企画し、働きかけを行っているが、まだ実現には至っていない

3 南地区地域コーディネーターによる学校教育活動のコーディネート実績

4月:市立図書館の「読み聞かせ」の調整 朗読サークル「葉の会」への依頼・日程調整

5月:2年生活科「南地区のお店の見学」の調整

6月:3年生社会科「みどりスポーツパーク見学」の調整 5年総合的な学習の時間「手話に関する学習」「認知症サポーターに関する学習」の調整 2年国語科「きつねのおきゃくさま」に係る「演劇団体」へのワークショップの依頼・調整 1年生活科「ひまわりの絆プロジェクト」の調整

7月:6年「こども議会」の調整 2年「図書館見学」の調整 3年「西條見学」の調整

9月:6年平和学習の講師への依頼 5年総合的な学習の時間「職場見学(5事業所)」の調整

2年生活科「郵便局見学」の調整